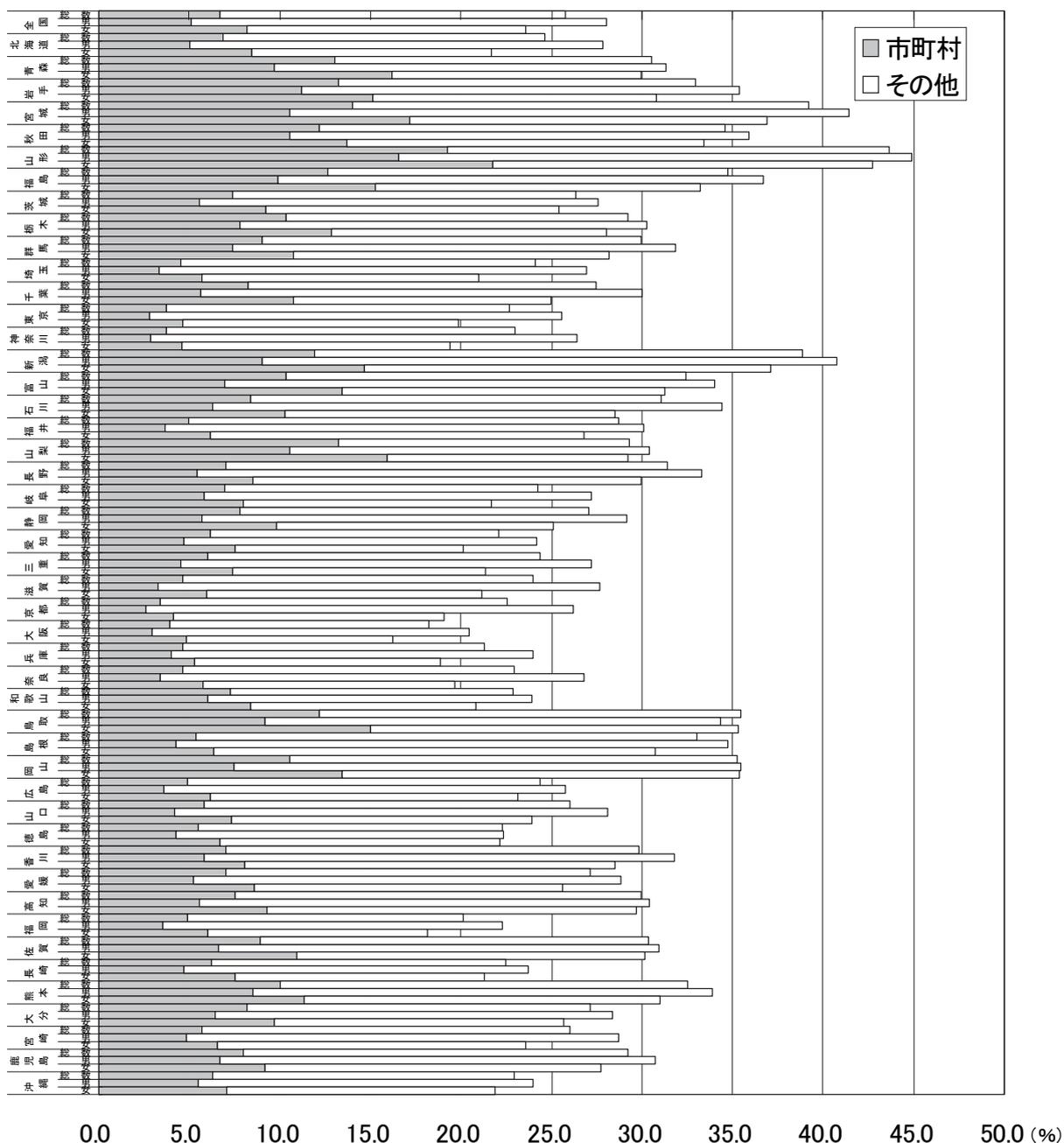


胃がん検診受診率(推計): 40~74歳



※国民生活基礎調査（平成16年）及び地域保健・老人保健事業報告（平成16年）より

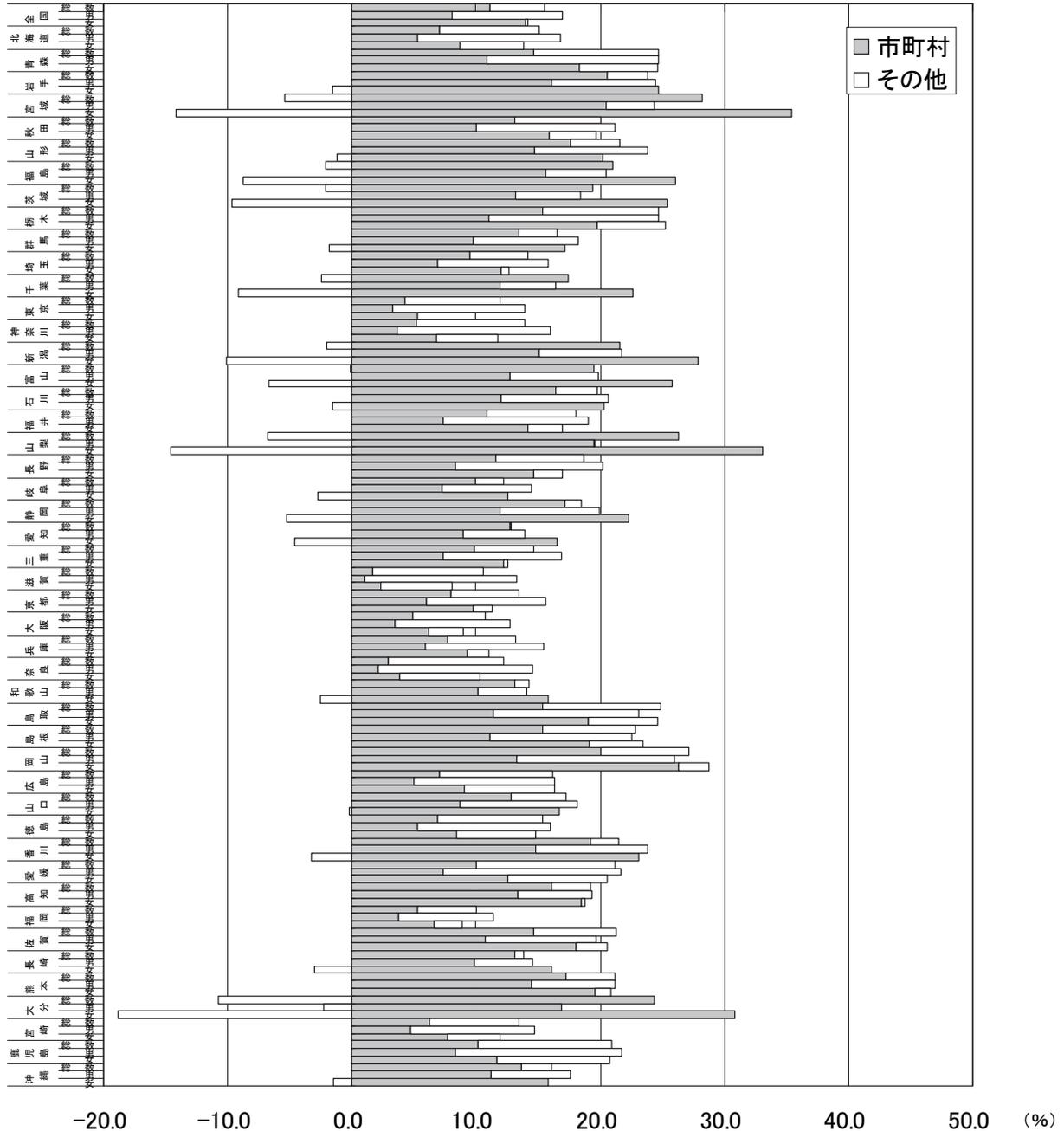
※国民生活基礎調査健康票第4巻第12表の「総数」を分母とし、同巻第16表の「各がん検診受診状況」を分子とした（「その他」及び「市町村」の和）。また、その分子の内訳として、地域保健・老人保健事業報告におけるがん検診受診者数を「市町村」の分として推計した。

【国民生活基礎調査において、実際の受診率と差が生じるとされる主な要因】

胃がん

- ・回答者が症状があり医療機関を受診した際に受けた検査を「がん検診」と誤解している

肺がん検診受診率(推計):40~74歳



※国民生活基礎調査（平成16年）及び地域保健・老人保健事業報告（平成16年）より

※国民生活基礎調査健康票第4巻第12表の「総数」を分母とし、同巻第16表の「各がん検診受診状況」を分子とした（「その他」及び「市町村」の和）。また、その分子の内訳として、地域保健・老人保健事業報告におけるがん検診受診者数を「市町村」の分として推計した。

【国民生活基礎調査において、実際の受診率と差が生じるとされる主な要因】

肺がん

- ・回答者が胸部エックス線検査によるがん検診を結核検診と誤解している
- ・回答者が症状があり医療機関を受診した際に受けた検査を「がん検診」と誤解している

(注)「その他」がマイナスとなっている都道府県においては、国民生活基礎調査による受診者数（推計値）よりも、地域保健・老人保健事業報告により得られた受診者数の方が上回っている。